

科目名		保安法令			
担当教員		富樫 久夫	実務授業の有無	有	
対象学科	電気・通信エンジニア科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方		<p>【電気工事士養成科目】</p> <p>電気工事に関する各種法令の要点を理解するとともに、電気工学の復習・掘り下げを行う。教科書をベースとしたOneNoteでの学習に加え、2級電気工事施工管理技術検定の過去問題の答練に注力する。</p>			
学習目標（到達目標）		2級電気工事施工管理技術検定第一次検定の過去問題の「電気工学」（問1～12）・「法規」（問53～64）にて正答率75%			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		2級電気工事施工超速マスター 第2版・OneNote・アプリ版過去問題集（各自で用意） 必要に応じて1年次に使った「すい〜っと合格」を参考資料として使います。			
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	電気工学「電気理論」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます（1年次の深掘り）		
2	電気工学「計器・電気機器」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます（1年次の深掘り）		
3	電気工学「電力系統」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます（1年次の深掘り）		
4	電気工学「電気応用」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます（1年次の深掘り）		
5	法規「建設業法」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます		
6	法規「電気関係法令」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます（1年次の深掘り）		
7	法規「建築関係法令」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます		
8	法規「労働関係法令」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます(特別教育の補足を含む)		
9	法規「消防法」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます		
10	法規「その他法令」		テキスト・問題集とOneNote資料を活用して、重要項目を整理・暗記していきます		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期考査					OneNoteのページに書き込んで理解していくスタイルをとります。毎回iPadとpencilを使うので、前日に充電しておくのを忘れないこと。また、欠席した場合は動画視聴・OneNote確認で遅れを取り戻す努力を怠らないこと。
100 %	%	%	%	%	
成績評価基準はS(90点以上) A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電子計測・計量システムの構築業務に5年 第一種電気工事士			

科目名		電気工事実習			
担当教員		富樫・坂西・藤田		実務授業の有無	有
対象学科		電気・通信エンジニア科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		壁付け作業を主体にケーブル工事、金属管工事、合成樹脂管工事の訓練を重ね、屋内配線・屋外配線の技術を習得する。また、昇降柱訓練、高所作業車運転訓練・引込み線工事、制御盤工作など新たな分野にも取り組む。 クラスをA・B2班に分け、週ごとに実習室・講師を入れ替える。			
学習目標 (到達目標)		電気工事士免状保有者として誇れる技術を身につけ、卒業後は即戦力として現場で働くことができる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		電気工事実技教科書(雇用問題研究会) OneNote資料等 高所作業車運転者必携 安全衛生教育テキスト(建設業労働災害防止協会) フルハーネス型安全帯使用作業特別教育テキスト(建設業労働災害防止協会)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ケーブル配線工事 複線図の作図、寸法の検討、材料の選定、配線工事、竣工検査			作業板・天板を用いた施設にVVFケーブルで配線工事 複線図・材料表を丁寧に書く。絶縁抵抗の測定。(藤田・坂西)	
2	金属管工事 部材の選定、切断、ねじ切り、曲げ加工、配管、通線			ねじなし電線管・薄鋼電線管の加工と通線 工事場に応じて部材を選び、加工ができる。(藤田・坂西)	
3	合成樹脂管工事 部材の選定、切断、曲げ加工、配管、通線			硬質ビニル電線管・PF管・CD管の加工と通線 工事場に応じて部材を選び、加工ができる。(藤田・坂西)	
4	リモコンリレー回路			リモコンリレーを使った照明回路を構築する トランス、スイッチ、リレーの接続方法を学ぶ(富樫)	
5	リレーシーケンス			DC24VおよびAC200Vリレーを使用した制御回路を作成 光電スイッチ等のセンサの活用 (富樫)	
6	フロートレススイッチ回路			フロートレススイッチを使用したポンプのON/OFF回路を作成 しモーターや水槽を用い動かしかし方を学ぶ。(富樫)	
7	フルハーネス・高所作業車特別教育			テキストを用いて、座学をおこない実技でフルハーネスの着脱 や高所作業車に乗り操縦をおこなう。(富樫・坂西)	
8	昇降柱訓練			榊荻荘電機様と企業連携し、実際の訓練場にて昇降柱を実施 (富樫・坂西・藤田)	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題	期末試験		毎回の作業内容を十分理解し、周囲と協力しながら課題に取り組むこと。単純に回路を完成させるのではなく、外観・品質・安全管理・作業環境の整備にも気を配ること。	
10 %	60 %	30 %	%		
成績評価基準は、S(90点以上～100点)・A(80点以上～90点未満) B(70点以上～80点未満)・C(60点以上～70点未満) D(0点～60点未満、不合格または不受験)とする。					
実務経験教員の経歴		電気工事会社にて実務44年(藤田) 第一種電気工事士			

科目名		通信技術			
担当教員		川瀬 伸行		実務授業の有無	有
対象学科		電気・通信エンジニア科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		工事担任者第2級デジタル通信の「端末設備の接続のための技術及び理論」の科目の範囲を学習する。			
学習目標 (到達目標)		工事担任者第2級デジタル通信の「端末設備の接続のための技術及び理論」の科目の範囲を理解する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		工事担任者第2級デジタル通信標準テキスト (リックテレコム) 工事担任者第2級デジタル通信実践問題集 2024年版 (リックテレコム)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	端末設備の技術Ⅰ			標準テキストと問題集を使い解説。IP電話、LANの概要について理解できる。	
2	ネットワークの技術Ⅰ			標準テキストと問題集を使い解説。データ通信の伝送方式、伝送制御手順について理解できる。	
3	端末設備の技術Ⅱ			標準テキストと問題集を使い解説。LANの構成機器、LANの媒体アクセス制御方式について理解できる。	
4	ネットワークの技術Ⅱ			標準テキストと問題集を使い解説。IPアドレス、IPネットワークのプロトコルについて理解できる。	
5	情報セキュリティの技術			標準テキストと問題集を使い解説。情報システムの脅威、端末設備とネットワークセキュリティについて理解できる。	
6	接続工事の技術			標準テキストと問題集を使い解説。光ファイバーケーブルを用いたLANの配線について理解できる。	
7	工事担任者 第2級デジタル通信 問題演習			標準テキストと問題集を使い解説。過去問題「端末設備の接続のための技術及び理論」科目の問題が解答できる。	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	評価試験			社会インフラの通信技術を理解しましょう。	
10 %	90 %	%	%		
成績評価基準は、S(90点以上～100点)・A(80点以上～90点未満) B(70点以上～80点未満)・C(60点以上～70点未満) D(0点～60点未満、不合格または不受験)とする。					

科目名		情報処理実習				
担当教員		渡邊 美歌		実務授業の有無	有	
対象学科		電気・通信エンジニア科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数	30時間
授業概要、目的、授業の進め方		プレゼン技法の前期はPowerPointを学ぶ。資料作成・発表での操作および、プレゼンテーションに役立つ知識を身につける事を目的としている。また前期授業最終週には検定試験を受ける。全員が合格することを目指す。				
学習目標 (到達目標)		アプリケーション操作を身に付ける。検定試験に合格する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		PowerPointクイックマスター・サーティファイ検定問題集				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	設定とインストール			サーバー接続の設定。テキストデータのインストール		
2	プレゼンテーションの作成と文字編集			PowerPointの画面構成と文字の入力、箇条書きの設定について学習する。		
3	オブジェクトの作成			図形描画と編集・ワードアート・画像ファイルの挿入について学習する。		
4	表やグラフの作成			表の作成と編集・グラフの挿入について学習する。		
5	表示効果とハイパーリンク スライドショー			画面切り替えとアニメーション、スライドショー、資料の作成と印刷について学習する。		
6	オブジェクトや表・グラフの活用 検定対策			図形や画像の活用について学習する。検定への本格的な対策を開始する。		
7	検定対策			検定対策練習問題を使用し、検定への力をつける。個人的にアドバイスをしながら、合格レベルまで高める。		
8	検定対策（模擬試験）			検定対策模擬問題を使用し、検定本番と同じように問題を解きながら進める。個人的に弱い部分を見極め、対策する。		
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
平常点	課題	検定結果		最近PowerPointが幅広い使われ方をするようになってい ます。検定取得を目標としながら、その中で操作をしっかりと習 得します。重要なアプリです。頑張ってください。		
10 %	30 %	60 %	%			
成績評価基準は、S(90点以上～100点)・A(80点以上～90点未満) B(70点以上～80点未満)・C(60点以上～70点未満) D(0点～60点未満、不合格または不受験)とする。						

科目名		就職実務			
担当教員		坂西 大輔		実務授業の有無	無
対象学科	電気・通信エンジニア科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	45時間
授業概要、目的、授業の進め方	就職してからのビジネスマナーや言葉遣い、上司や他社との接し方を学びビジネススキルを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	卒業までに身につけるべき知識・技術・コミュニケーションを明確にする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイドSUCCESS ウイネット 夢実現のための 実践行動学 実践行動学研究所				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	就職活動の振り返り			今までの就活を振り返り、企業からの情報を整理し内定式までのスケジュールを確認し準備する	
2	ビジネス文書の書き方			社外文書・社内文書の定型文を理解する	
3	ビジネスマナーその1			社内・社外メールの送り方	
4	ビジネスマナーその2			ビジネスマナー(敬語・名刺交換など)を学ぶ	
5	実践行動学			実践行動学を用い、グループ討議などをおこなう	
6	すららネットの活用			国語・数学の基礎学力を高める	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題			コミュニケーションで良い人間関係の構築を目指す 運動会などのイベントも就職実務ですので出席するように注意しましょう。	
10 %	90 %	%	%		
成績評価基準は、S(90点以上～100点)・A(80点以上～90点未満)					
B(70点以上～80点未満)・C(60点以上～70点未満) D(0点～60点未満、不合格または不受験)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名		施工管理			
担当教員		坂西・清野		実務授業の有無	有
対象学科		電気・通信エンジニア科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		2級電気工事施工管理技術検定の品質管理、安全管理、施工管理の分野を学習する			
学習目標 (到達目標)		2級電気工事施工管理技術検定の品質管理、安全管理、施工管理の分野の問題を解くことができる。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		2級電気工事施工管理 超速マスター TAC出版			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	品質管理			学習方法：2級電気工事施工管理技術テキストで学習	
2	安全管理			学習方法：2級電気工事施工管理技術テキストで学習	
3	施工管理			学習方法：2級電気工事施工管理技術テキストで学習。工程管理で使われるパーチャート工程表、ガンチャート工程表、ネットワーク工程表の作図。	
4	労働安全衛生法			学習方法：労働安全衛生に関する資料等で学習。過去の事故事例を通して事故を未然に防ぐ考え方を学ぶ。	
5	安全に関する考え方			学習方法：品質管理、安全管理、工程管理を施工管理技士がどのように仕事で運用しているのかテキスト等で学習。	
6	電気工学の知識			学習方法：テキストの電気工学の分野を学習。	
7	電気設備の知識			学習方法：テキストの電気設備の分野を学習。	
8	2級電気工事施工管理技術検定 第1次試験問題演習			学習方法：2級電気工事施工管理技術検定第一次検定過去問題を模擬試験形式で実施。過去10年分を実施。	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題				
10 %	90 %	%	%		
成績評価基準は、S(90点以上～100点)・A(80点以上～90点未満)・B(70点以上～80点未満)・C(60点以上～70点未満)・D(0点～60点未満、不合格または不受験)とする。				2級電気工事施工管理技術検定 第一次試験の合格を目指しましょう。	